

半田市議会と高校生との交流会（そこまで話して委員会^{いいんかい}）

1. 理由

今般、開催した「初当選議員のご意見を拝聴する会」にて、初当選した議員の視点から、市民の声や選挙活動を通して受け取った意見交換を行った。その中には、「自分の私生活と政治の繋がりが見えずらく、選挙に行っても変わらない」「私生活に不満は感じていても、どのように変えることができるのか分からない」「声をあげても届かないと感じる」などの意見が出た。また、半田市でも 10 代をはじめ、若者世代の投票率が低迷している現状から、これから選挙権を得る高校生に対して、政治や議会に対して、興味関心をもっていただきたいと考えた。本取組を通して、これまで以上に市民に開かれた議会を目指し、より議会への関心を高めていくために、「半田市議会と高校生との交流会（そこまで話して委員会）」を開催することとする。

2. 目的

政治や議会に対して関心を持っていただき、有権者としての意識の向上を目的とします。

3. 主体

半田市議会 正副議長及び初当選議員

4. 対象

愛知県立半田高等学校

2 年生 文系 4 クラス 152 名程度

5. 実施日

令和 5 年 12 月 18 日（月） 5 限（65 分） 14 時 20 分から 15 時 25 分

6. タイムテーブル （65 分）

No	内容	所要時間
1	開会	1 分（副議長）
2	議長挨拶	2 分（議長）
3	初当選議員自己紹介	1 分
4	ディスカッション	33 分
5	発表	18 分（3 分×6 委員会）
6	講評	6 分（1 分×6 議員）
7	総括	3 分（議長）
8	閉会	1 分（副議長）

7. 場所

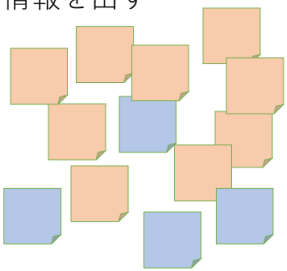
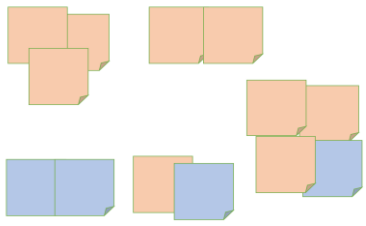
愛知県立半田高等学校（七中記念館）

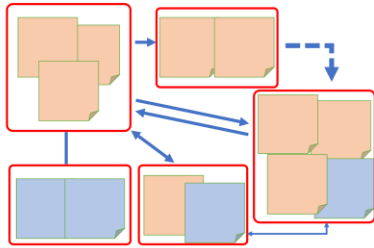
8. 方法

- ・生徒は、予め6つの委員会（1 委員会は約 25 名）に分かれ、初当選議員が各委員会に 1 名担当します。
- ・各委員会が 4 つのグループに分かれ、テーマに沿ってディスカッションを行います。
- ・ディスカッションのテーマは、「若者が投票しやすい環境づくりについて」とし、各委員会が共通のテーマで議論します。
- ・ディスカッション（33 分）の流れは以下の通りです。

No	内容	所要時間
①	ディスカッションの説明	1 分（初当選議員）
②	ブレインストーミング	3 分（各グループ）
③	振り分け・ディスカッション	15 分（各グループ）
④	グループまとめ	4 分（各グループ）
⑤	委員会まとめ	10 分（初当選議員）

・ディスカッション詳細説明

No	内容	説明
①	全体の流れ	K J 法 4 つのステップ ①アイデアや情報を出す ↓ ②グループに分類する ↓ ③図解化する ↓ ④文章化する 
②	ブレインストーミング	STEP 1 アイデアや情報を出す テーマに関する情報やアイデアを一人3つまで書き出す。 記入したものを机の上にバラバラに広げる 
③-1	振り分け・ディスカッション	STEP 2 グループに分類する 書き出した情報やアイデアをグループにまとめる 

③-2	整理・ディスカッション	STEP 3 図解化する グループを配置し 図解化する 
④	グループまとめ	STEP 4 文章化する 作業を通して分かったこと を、話し合い、説明が出来る ように文章化を行います。 ※順番に発表するのではなく、関 係性も踏まえて、分かりやすくま とめられるように行います。 
⑤	委員会まとめ	・各グループは 1 分以内で報告する。 ・その後、以下の 3 項目（案）で評価する。 →興味の持ちやすさ（ユーモア、楽しさ、広報、PR） →効果、費用 →投票のしやすさ、利便性 ・最も評価の高いグループが委員会代表として発表する。

・ディスカッション終了後、各委員会 3 分程度で発表する。

9. その他

交流会当日は、半田市議会議員全員に見学等と呼び掛けるとともに、半田市議会広報委員会取材に入る。

また、単に議会への関心を高めるだけでなく、この事業を通して今後選挙権を得る若者世代と交流することによって、多様な意見を聞き取り、必要に応じて議会内で共有し、当局へ提言等（伝達、要望、政策協力など）を行うことも視野に入れて実施する。

《半田高等学校への依頼事項》

- ・半田市議会から事前に資料提供させていただきますので、事前に生徒に展開してください。（趣旨説明、議長挨拶、議員紹介、アンケート等）
- ・事前学習について、「若年層の投票率が低いこと」「図説にて投票に行かない理由」を確認し、若者がどうすれば投票に行くかを自由な発想で考えてください。
- ・また、生徒を 25 人の委員会及び 4 グループに分け、グループ内での役割分担（リーダー、発表者）を事前に決めておいてください。